

# 2021年度事業報告書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

公益財団法人 出光美術館

# 2021年度事業報告書

## 1. 公開展示

期間	展覧会名	開館日数	入館者(1日平均)
21. 4. 13.～ 4.25.	松平不昧 生誕 270 年 茶の湯の美	12	1,012(84)

\*「松平不昧 生誕 270 年 茶の湯の美」展は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、予定の会期(5.30.)を繰り上げて閉幕

期間	展覧会名
21. 6. 15.～ 8.22.	きらめきの日本美術 —屏風絵と肉筆浮世絵
21. 9. 14.～ 12.12.	生誕 150 年 ジョルジュ・ルオー
22. 1. 18.～ 3.21.	出光佐三とそのコレクション —美へのまなざし

\*上記の企画展は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、すべて取りやめ

## 2. 講演会

\*2021 年度は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、講演会等中止

## 3. 出版物

### ・展覧会図録

松平不昧 生誕 270 年 茶の湯の美	21.4.
出光美術館蔵 御茶器帳(雲州蔵帳)	21.4.

### ・『出光美術館研究紀要』

第 27 号		22. 3.
青花瓷器、所謂「雲堂手」に関する研究 ——壺(罐)類を中心に	徳留大輔	
研究ノート 出光美術館所蔵の唐津陶片資料に関して	高木大輔	
筆墨表現を觀賞する視座(承前) ——書画表現の共感	笠嶋忠幸	
古筆手鑑「見努世友」について ——修復報告を中心として	金子 馨	
岩佐又兵衛をめぐる言説史再考 —大和絵と風俗画の視点から(下)	廣海伸彦	
仙厓画 ——その変遷と変化	八波浩一	
「東山図」の生まれた「場」	田中 伝	

### ・『出光美術館館報』

NO.192		21. 6.
第 318 回水曜講演会 禅僧仙厓と蝦夷探検家松浦武四郎を結ぶ二つの不思議な「涅槃図」	ヘンリー・スミス	
学芸だより 仙厓が降りてくる? —学芸員のあるかたち	八波浩一	
NO.193		21. 12.
第 319 回水曜講演会 光琳・乾山から大雅・蕪村まで ——文雅の系譜——	宮崎もも	
学芸だより 書道の魅力 ——歴史と現代の対話	笠嶋忠幸	
館蔵品紹介 虚白院に雪が降る	田中 伝	

#### 4. 博物館実習指導(2021年11月8日～12日)

青山学院大学 1名、学習院大学 3名、多摩美術大学 1名、東京学芸大学 1名、日本女子大学 1名 計7名

#### 5. 文化財修復事業

21.4.～22.3. 国宝 伴大納言絵巻(国庫補助事業、令和3・4年度 2ヶ年計画の1年目)

21.4.～22.3. 重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵「遍昭」、「柿本人麻呂」(国庫補助事業、令和3・4年度 2ヶ年計画の1年目)

#### 6. 館員研究活動等

・調査(外部資金を利用したもののみ掲載)等

19.4.～23.3. 科学研究費補助金 基盤研究(C)「12～15世紀の中国陶磁器の流通と消費に関する調査研究——中国内外の比較研究」〔徳留〕

20.4.～22.3. 出光文化福祉財団 調査・研究助成「江戸時代の青磁生産に関する美術史・考古学的研究——江戸時代の国産青磁は何を目指していたのか?!」〔徳留〕

20.4.～24.3. 科学研究費補助金 基盤研究(B)「人はなぜ国家形成へと向かったのか:日英中を対象としたマイクロ-マクロ架橋的比較研究」〔徳留〕(研究分担者)

20.4.～25.3. 科学研究費補助金 基盤研究(B)「11～14世紀の日本に流通する中国産陶磁器の産地推定と流通に関する比較研究」〔徳留〕(研究分担者)

・研究発表

21.6.～22.3. 細井廣澤作品の悉皆調査(第1期)東京・満願寺(画像による翻字・釈文の作成)〔笠嶋〕

21.6.5. 第10回フォンテーヌブロー宮殿美術史祭(Festival de l' Histoire de l' Art au Château de Fontainebleau、日本側主催:独立行政法人 国際交流基金、日仏会館<オンライン開催>)における研究発表(L' attrait de la calligraphie. L' histoire et les dialogues modernes(書道の魅力——歴史と現代の対話:The Allure of Calligraphy – History and Modern Dialogue)) 〔笠嶋〕

21.7.31. 第58回平泉文化セミナーにおける研究発表(岩手大学<オンライン開催>) 〔徳留〕

21.11.20. 日本近世文学会秋季大会シンポジウム「見せる／魅せる」近世文学」における研究発表(オンライン開催) 〔金子〕

22.2.20. 岩手大学平泉文化研究センター国際シンポジウム「11～14世紀における中国陶磁の生産と流通—日本・中国の事例を中心として」における研究発表(京都出土の中国陶磁の産地推定研究)(オンライン開催) 〔徳留〕

22.3.12. 東洋陶磁学会例会における研究発表(江戸時代までに伝世していた中国産青磁の修正とその特徴について)(オンライン開催) 〔徳留〕

・出講・講演等

「原書購読 I (3)」、「比較芸術学特講義 I (5・6)」講義(笠嶋、青山学院大学、21.4.～22.3.)

「書論」、「書道科教育法 I」集中講義(笠嶋、岐阜女子大学、21.4.～22.3.)

「書道鑑賞 A・B」「書道名品鑑賞①A・B」集中講義(笠嶋、二松學舎大学、21.4.～22.3.)

「くずし字に親しむ 鑑賞と入門」講座(笠嶋、朝日カルチャーセンター新宿、21.4.～22.3.)

「くずし字入門」講座(笠嶋、朝日カルチャーセンター横浜、21.4.～22.3.)

「日本書道史 I・II」「書道」講義(金子、國學院大学、21.4.～22.3.)

「漢字書法」科目修得試験出題・採点、及び添削指導(金子、日本大学(通信教育部)、21.4.～22.3.)

「書道史 2」講義(金子、日本大学、21.9.～22.3.)

「博物館実習」講義(オムニバス)(徳留、女子美術大学、21.4.～22.3.)

「博物館概論」、「生涯学習論」講義(徳留、明治学院大学、21.4.～22.3.)  
「陶磁史」集中講義(徳留、沖縄県立芸術大学、21.4.～21.9.)  
「東洋の美術b」講義(徳留、実践女子大学、21.9.～22.3.)  
「芸術表現総合比較研究Ⅰ」集中講義(徳留、沖縄県立芸術大学大学院、22.3.6.)  
「原書講読Ⅰ(2)」講義(廣海、青山学院大学、21.4.～21.9.)  
「美術史講義」講義(廣海、学習院大学、21.4.～21.9.)  
「芸術の現場から」講義(ゲストスピーカー)(廣海、群馬県立女子大学、21.6.28.)  
「芸術鑑賞の方法Ⅰ(3)」講義(廣海、青山学院大学、21.9.～22.3.)  
「美術館学特殊研究」講義(廣海、学習院大学大学院、21.9.～22.3.)  
「博物館実習1a」講義(廣海、実践女子大学、21.9.～22.3.)  
「総合講義(鎌倉・金沢を知る)」講義(ゲストスピーカー)(廣海、横浜市立大学、21.10.19.)  
「学芸員が語る美術作品の見方・楽しみ方」講座(八波、朝日カルチャーセンター千葉、21.4.～22.3.)  
「博物館の活動と学芸員の仕事」講義(八波、国際基督教大学、21.5.28.)  
青山グリーンアカデミー「仙厓にみる禅の教え」講演(八波、公益財団法人国際茶道文化協会、21.7.14.)  
令和3年度文化芸術による子供の育成事業「芸術家の派遣事業」芸術科「鑑賞」講義(金子、千葉県立松戸馬橋高等学校、21.10.4, 5.)  
令和3年度 雑司が谷地域文化創造館「ちとせ橋コミュニティ塾」講義(八波、公益財団法人としま未来文化財団、21.10.6.)  
「平安書道研究会」講座(笠嶋、書芸文化院、21.11.14, 22.2.13.)  
令和3年度文化芸術による子供の育成事業「芸術家の派遣事業」芸術科(書道Ⅰ)「鑑賞」講義(金子、千葉県立国府台高等学校、21.11.22, 26, 29.)  
「日本書道史」講義(ゲストスピーカー〈オンライン〉)(笠嶋、神戸松蔭女子学院大学、22.1.24.)

## 7. 特記事項(館外における協力・主催の展示)

公益財団法人 出光佐三記念美術館(出光美術館(門司))

期間	展覧会名
21.4.16. ～ 4.28.	茶の湯の美

\*「茶の湯の美」展は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、予定の会期(6.6.)を繰り上げて閉幕

期間	展覧会名
21.6.25. ～ 9.5.	魅惑の唐三彩 —シルクロードの恵み
21.10.1. ～ 12.12.	出光佐三とそのコレクション
22.1.14. ～ 3.21.	日本のやきもの 入門編 —色彩・文様・造形をたのしむ

\*上記の企画展は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、すべて取りやめ

## 8. 助成事業

人間尊重の精神に基づき、文化・福祉の発展に寄与する支援・助成を下記のとおり実施した。

Ⅰ. 文化の発展に寄与する活動への助成(個別) 6件152,000千円

Ⅱ. 日本文化に関する助成(公募)

(1)修復3件10,000千円

(2)調査研究5件3,530千円

(3)出版4件11,070千円

計12件24,600千円

Ⅲ. 福祉活動への助成(個別) 2件2,000千円

Ⅳ. 福祉に関する助成(公募)

- (1)交通遺児助成 29名5,800千円  
 (2)福祉施設助成 20件16,352千円  
 計49件22,152千円  
 助成合計200,752千円

\*財団建物の一部を、引き続き出光興産株式会社に賃貸した。賃貸料は一般に取引される価格とし、令和3年度は月額160万円(消費税抜き)である。

## 9. 総務事項

### (1)役員会・評議員会 (以下の各議案を付議し、原案通り可決された)

	議 案
理事会 書面決議 2021年6月8日	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 2020年度事業報告書(案)承認の件</b> 2020年度事業報告書(案)について承認された。</p> <p><b>第2号議案 2020年度決算書(案)承認の件</b> 2020年度決算書(案)について承認された。</p> <p><b>第3号議案 理事、監事及び評議員候補推薦の件</b> 当法人の理事8名、監事3名、評議員10名が、令和3年6月24日(木)に開催される定時評議員会の終結の時をもって辞任し、辞任された理事8名、監事3名、評議員10名の皆さまが再任されることが承認された。</p> <p><b>第4号議案 定時評議員会招集の件</b> 定時評議員会の招集について承認された。</p>
理事会 書面決議 2021年6月22日	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 理事長1名選定の件</b> 当法人の評議員会(書面による決議(開催の省略)による方法において理事に選任されたとき、出光昭介を当法人の理事長に選定することが承認された。</p> <p><b>第2号議案 常務理事1名選定の件</b> 当法人の評議員会(書面による決議(開催の省略)による方法において理事に選任されたとき、篠田整二を当法人の常務理事に選定することが承認された。</p>
理事会 書面決議 2021年6月22日	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 定時評議員会の書面による決議(開催の省略)に関する提案承認の件</b> 定時評議員会の書面による決議(開催の省略)について承認された。</p> <p><b>【報告事項】</b> 現在、当法人の収益事業を拡大すべく、ディスプレイなど電子的な機器に当法人所蔵の美術品の画像を表示する「デジタルサイネージ事業」等の業務を企業等から受注することについて検討している旨説明された。</p>
評議員会書面決議 2021年6月29日	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 2020年度決算書(案)のご承認の件</b> 2020年度決算書の内容とおりにすることについて決議された。</p> <p><b>第2号議案 2020年度決算書(案・公益財団法人出光文化福祉財団分)の承認の件</b> 2020年度決算書(出光文化福祉財団分)についても同様のとおりにすることについて決議された。</p> <p><b>第3号議案 評議員候補者、理事及び監事候補者選任の件</b></p>

	<p>当法人の評議員及び役員(理事及び監事)を資料記載のとおりとすることについて決議された。</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1)2021年度事業計画書、2021年度収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて 2021年度事業計画書、2021年度収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みのとおりとなることにつき報告された。</p> <p>(2)2020年度事業報告書について 2020年度事業報告書の内容とおりにつき報告した。</p> <p>(3)2020年度事業報告書(公益財団法人出光文化福祉財団分)について 2020年度事業報告書の内容とおりにつき報告した。</p>
<p>理事会書面決議 2021年11月2日</p>	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 変更認定申請書に添付する2021年度事業計画及び収支予算の修正承認の件</b> 第2号議案の変更認定申請(新たな収益事業の追加)を行うに当たり、当法人の2021年度の事業計画を提案書とおりに、同年度の収支予算を提案書とおりに修正することについて承認された。</p> <p><b>第2号議案 変更認定申請書の承認の件</b> 当法人が新たな収益事業を行うにあたり、当法人が変更認定申請書を内閣府へ提出することについて承認された。</p> <p><b>第3号議案 臨時評議員会の招集の承認の件</b> 当法人が、提案書のとおり臨時評議員会を招集することについて承認された。</p>
<p>臨時評議員会 2021年11月25日</p>	<p><b>【報告事項】</b></p> <p><b>1. 館の運営状況、来年度の展覧会予定</b></p> <p>(1)篠田常務理事から、新型コロナウイルスの感染者数が収まってきたこともあり、2022年1月25日から開館予定である旨の報告がなされた。開館に当たっては、「出光佐三のまなざし」という展覧会を行う予定であること、門司の出光佐三記念美術館では焼き物を中心に出光佐三ゆかりのものを展示する予定であり、両美術館を訪問頂くことで出光佐三の収集の歴史を堪能できる形にする予定であることの報告がなされた。 また、開館に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために完全予約制で行う予定である旨の報告がなされた。</p> <p>(2)篠田常務理事から、【東京】2022年度展覧会(案)・【門司】2022年度展覧会(案)に基づき、2022年度に当法人が予定している展覧会の概要の説明がなされた。</p> <p><b>2. 新たな収益事業について</b> 篠田常務理事から、今般、出光興産株式会社から文化事業の訴求の一環として、同社の受付等で専門性の高い美術品を展示することになり、そのプランニング等について当法人に対して打診がなされたこと、この打診を契機に他社にもこの取組みを広げていく予定である旨の報告がなされた。</p> <p><b>3. 当法人の保険代理店の変更について</b> 篠田常務理事から、当法人の保険(主として損害保険)の代理店に関し、一昨年前に、出光保険サービス株式会社からパワーリンク株式会社に変更した旨の報告がなされた。なお、パワーリンク株式会社の株主に出光正道氏がおられるが、以下の2点から当法人と特別な利害関係がない旨の報告がなされた。</p> <p>①当法人の火災保険の対象は、丸の内本館、青葉台及び三鷹の収蔵庫であるところ、保険代理店を変更しても保険料に変更はないばかりか(保険引受会社は東京海上日動火災株式会社)、従前の保険代理店と異なり有用な情報提供もして頂ける点</p> <p>②当法人の要望に対して従前の保険会社よりも柔軟に対応いただいているほか、当法人の利益になる契約を提案いただくことができた点(変更前の保険料率で契約期間5年の保険契約を締結することができ、5年間で2</p>

	50万円の支出を抑えることができた)
臨時理事会 2021年11月25日	<p><b>【報告事項】</b></p> <p><b>1. 館の運営状況、来年度の展覧会予定</b></p> <p>(1)館長である出光佐千子理事から、新型コロナウイルスの感染者数が収まってきたこともあり、2022年1月25日から開館予定である旨の報告がなされた。開館に当たっては、「出光佐三のまなざし」という展覧会を行う予定であること、門司の出光佐三記念美術館では焼き物を中心に、出光佐三ゆかりのものを展示する予定であり、両美術館を訪問頂くことで出光佐三の収集の歴史を堪能できる形にする予定であることの報告がなされた。また、開館に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために完全予約制で行う予定である(但し、「友の会」の会員については予約外で対応する予定である。)旨の報告がなされた。</p> <p>(2)笠嶋学芸課長から、【東京】2022年度展覧会(案)・【門司】2022年度展覧会(案)に基づき、2022年度に当法人が予定している展覧会の概要の説明がなされた。</p> <p><b>2. 新たな収益事業について</b></p> <p>実相寺事務局長から、出光興産株式会社から文化事業の訴求の一環として、同社の受付等で専門性の高い美術品を展示することになり、そのプランニング等について当法人に対して打診がなされたこと、この打診を契機に他社にもこの取組みを広げていく予定である旨の報告がなされた。</p> <p><b>3. 理事会・評議員会の運営(オンライン化)について</b></p> <p>篠田常務理事から、今夏に行った当法人の理事会・評議員会のオンライン化のアンケート結果の報告がなされ、その結果、当法人としては実開催を原則とする旨の報告がなされた。なお、実開催に当たっては、十分な新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行うことが報告された。</p> <p><b>4. 当法人の保険代理店の変更について</b></p> <p>実相寺事務局長から、当法人の保険(主として損害保険)の代理店に関し、一昨年前に、出光保険サービス株式会社からパワーリンク株式会社に変更した旨の報告がなされた。なお、パワーリンク株式会社の株主に出光正道氏がおられるが、以下の2点から当法人と特別な利害関係がない旨の報告がなされた。</p> <p>①当法人の火災保険の対象は、丸の内本館、青葉台及び三鷹の収蔵庫であるところ、保険代理店を変更しても保険料に変更はないばかりか(保険引受会社は東京海上日動火災株式会社)、従前の保険代理店と異なり有用な情報提供もして頂ける点</p> <p>②当法人の要望に対して従前の保険会社よりも柔軟に対応いただいているほか、当法人の利益になる契約を提案いただくことができた点(変更前の保険料率で契約期間5年の保険契約を締結することができ、結果として5年間で250万円の支出を抑えることができた)</p> <p><b>5. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</b></p> <p>篠田常務理事から、本年3月に開催された定時理事会以降、予定していた役員懇談会が新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出のため開催できなかった旨が報告された。また、今後は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みながら役員懇談会を開催していく予定である旨の報告がなされた。</p>
理事会 書面決議 2022年2月24日	<p><b>【決議事項】</b></p> <p><b>第1号議案 臨時評議員会招集の件</b></p> <p>当法人が、提案書のとおり臨時評議員会を招集することについて承認された。</p>

<p>定時理事会 2022年3月10日</p>	<p><b>【決議事項】</b>  <b>第1号議案 2022年度事業計画書(案)、収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込の承認の件</b>  篠田理事が議長を代弁して議案を議場に諮ったところ、いずれも出席者の過半数の賛成をもって原案どおり承認可決された。</p> <p><b>第2号議案 2021年度にて、本館建替積立資金資産として、10億円を積立てることの承認の件</b>  実相寺事務局長から今期、金10億円を本館建替資金資産として積立てたい旨の説明がなされた。以上の説明後、篠田理事が議長を代弁して議案を議場に諮ったところ、いずれも出席者の過半数の賛成をもって原案どおり承認可決された。</p> <p><b>【報告事項】</b>  <b>1. 理事長及び常務理事の職務執行状況</b>  篠田常務理事が議長を代弁し、定款第24条第4項に基づく出光理事長及び篠田常務理事の主な職務状況を報告した。</p> <p><b>2. 当法人の美術館の運営状況と次年度の展覧会</b>  出光佐千子理事が議長を代弁し、当法人の美術館の運営状況と次年度の展覧会事業に関し、報告がなされた。</p> <p><b>3. 令和4年4月1日以降の当法人の人事</b>  出光佐千子理事が議長を代弁し、令和3年4月1日以降の当法人の人事に関し報告がなされた。</p> <p><b>4. 当法人の新たな収益業務</b>  実相寺事務局長が議長を代弁し、出光興産株式会社等が文化事業の訴求の一環として美術品を展示する際、当法人がコンサルタントとして協力する収益事業に関し、今般、内閣府の同収益事業を承認する旨の答申があった旨の報告がなされた。</p> <p><b>5. 当法人の役員の業務について</b>  実相寺事務局長が議長を代弁し、公益認定等委員会から当法人の役員の役割についての質問があった旨の報告がなされた。</p> <p><b>6. 当法人への立入検査の件</b>  篠田業務執行理事から令和4年3月15日に、公益認定等委員会による立入検査が予定されている旨の報告がなされた。</p> <p><b>7. サムフランシスコレクションの売却に係る裁判の状況</b>  当法人の顧問弁護士と鶴間弁護士から、サムフランシスコレクションの売却に係る裁判に関し、令和4年2月28日、原告の請求を棄却する旨の判決の言渡しがあった旨の報告がなされた。</p>
<p>臨時評議員会 2022年3月10日</p>	<p><b>【報告事項】</b>  <b>1. 令和4年度事業計画(案)、収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて</b>  当法人の2022年度事業計画(案)、収支予算(案)と資金調達及び設備投資の見込みが当法人の理事会で承認可決された旨報告がなされた。</p>
<p>理事会書面決議 2022年3月31日</p>	<p><b>【決議事項】</b>  <b>第1号議案 本館建替資金資産取扱規程の改正の承認の件</b>  昨年、当法人は、公益財団法人 出光文化福祉財団(以下、「旧財団」といいます。)を吸収合併し、同財団の財産を承継したが、このたび、同財団から承継した下記財産(合計金33億5425万5365円)を当法人の本館建替資金資産に積立てるために、また同規程第8条に定める備置期間を一義的にするため、当法人の本館建替資金資産取扱規程を改正することにつき承認を得た。なお、施行日は令和4年3月30日とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金19億6866万3776円 但し、旧財団中の「固定資産」中の「公益事業資産」残高</li> <li>・金9億6230万2636円 但し、旧財団中の「その他固定資産」中の「普通預金」残高</li> </ul>



	<p>・金4億2328万8953円 但し、旧財団中の「その他固定資産」中の上記とは別の「普通預金」残高のうち上記金額</p> <p><b>第2号議案 金33億5425万5365円を当法人の本館建替資金資産に積立てたることの承認の件</b> 第1号議案の承認可決を条件に、第1号議案記載の金33億5425万5365円を、当法人の本館建替資金資産に積立てたることにつき承認を得た。</p> <p><b>第3号議案 公益財団法人 出光文化福祉財団の貸借対照表残高の承継の承認の件</b> 当法人は、旧財団を吸収合併し、同財団の財産を承継したが、このたび、同財産を承継することにつき承認を得た。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 登記事項

・2021年7月28日付けで、(3)の理事・監事・評議員の就任を登記

(3) 理事・監事・評議員

役名	氏名	現職務
理事	出光 昭 介	出光興産株式会社 名誉会長
	出光 佐 千 子	(公財)出光美術館館長、青山学院大学准教授
	篠 田 整 二	(公財)出光美術館副館長
	福 岡 正 夫	慶応義塾大学名誉教授
	河 合 正 朝	慶応義塾大学名誉教授
	河 野 元 昭	(公財)静嘉堂文庫館長、東京大学名誉教授
	清 水 雅 彦	横浜商科大学理事長、慶応大学名誉教授
	西 尾 則 雄	弁護士、西尾法律事務
	理事 計8名	
監事	保 田 博	リベラ株式会社 特別顧問
	涌 井 洋 治	日本たばこ産業株式会社 社友
	向 井 一 洋	向井公認会計士事務所公認会計士
	監事 計3名	
評議員	大 倉 健 資	ヘンミ計算尺株式会社 代表取締役
	木 村 均	東京都住宅供給公社
	三 浦 篤	東京大学総合文化研究科教授
	出 光 正 和	日章興産株式会社 代表取締役社長
	黒 川 光 博	株式会社 虎屋 代表取締役会長
	竹 内 順 一	東京芸術大学名誉教授
	室 瀬 和 美	蒔絵・人間国宝(重要無形文化財保持者)
	菅 原 克 也	武蔵野大学教授、東京大学名誉教授
	水 澤 孝 彦	株式会社 水澤工務店社長
	上 村 直 子	産業革新投資機構室長、弁護士
	評議員 計10名	